

イーストスプリング
米国高利回り社債オープン

追加型投信／海外／債券

受益者のみなさまへ

平素は格別のお引立てにあずかり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、主として米国の高利回り社債に実質的に投資することにより、高い金利収入の確保とともに証券の値上り益を追求し信託財産の成長を図ることを目指した運用を行います。当作成対象期間につきましてもこれに沿った運用を行ってまいりました。ここに、その運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜わりますよう、お願い申し上げます。

作成対象期間 2023年7月11日～2024年1月10日

第246期 2023年8月10日決算 第249期 2023年11月10日決算

第247期 2023年9月11日決算 第250期 2023年12月11日決算

第248期 2023年10月10日決算 第251期 2024年1月10日決算

日経新聞掲載名：米高利回

第251期末(2024年1月10日)

基準価額	7,738円
純資産総額	18,416百万円
第246期～第251期	
騰落率	8.0%
分配金(税込み)合計	120円

(注) 騰落率は分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

(注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。

イーストスプリング・インベストメンツ株式会社

〒100-6905

東京都千代田区丸の内2-6-1丸の内パークビルディング

<https://www.eastspring.co.jp/>

【お問い合わせ先】

電話番号：03-5224-3400

(受付時間は営業日の午前9時から午後5時まで)

当ファンドは、信託約款において運用報告書(全体版)を電磁的方法によりご提供することを定めております。運用報告書(全体版)は、下記の手順で閲覧、ダウンロードすることができます。なお、書面をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

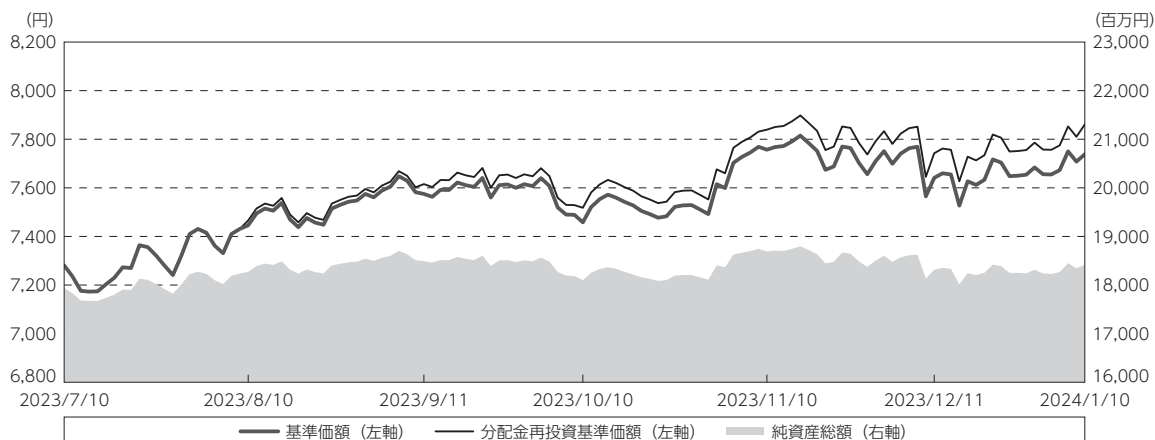
<運用報告書(全体版)の閲覧・ダウンロード方法>

ホームページにアクセス⇒「ファンド情報」を選択⇒ファンド名を選択⇒「目論見書・月報・運用報告書等」の「運用報告書(全体版)」を選択

運用経過

基準価額等の推移について

(2023年7月11日～2024年1月10日)



第246期首：7,281円

第251期末：7,738円 (既払分配金(税込み)：120円)

騰落率：8.0% (分配金再投資ベース)

(注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
(注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

(注) 分配金再投資基準価額は、作成期首(2023年7月10日)の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

(注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

(注) 当ファンドにおいては、運用の基本方針に適合した、公表されている指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

基準価額の主な変動要因

当作成期の基準価額は上昇しました。(分配金再投資ベース)

(上昇要因)

- ・債券の利子収入と価格が上昇したこと。

1万口当たりの費用明細

(2023年7月11日～2024年1月10日)

項 目	第246期～第251期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	69	0.912	(a) 信託報酬＝作成期間の平均基準価額×信託報酬率
(投 信 会 社)	(36)	(0.470)	委託した資金の運用の対価
(販 売 会 社)	(29)	(0.387)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(4)	(0.055)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) そ の 他 費 用	4	0.059	(b) その他費用＝作成期間のその他費用÷作成期間の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(1)	(0.013)	海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監 査 費 用)	(0)	(0.006)	監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(そ の 他 1)	(3)	(0.040)	信託管理事務に係る手数料
(そ の 他)	(0)	(0.000)	金銭信託に係る手数料等
合 計	73	0.971	
作成期間の平均基準価額は、7,559円です。			

(注) 作成期間の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

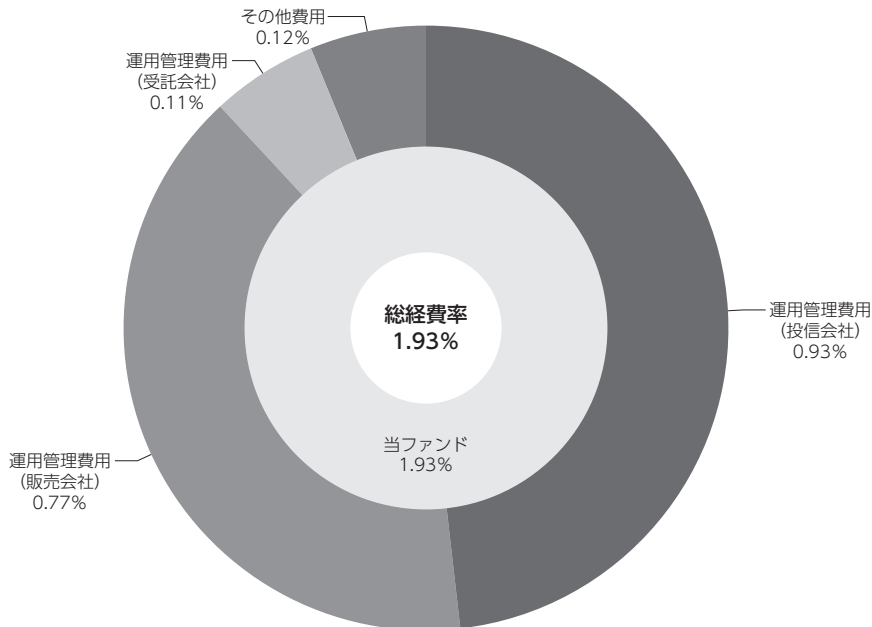
(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(注) その他費用は、当ファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(参考情報)

○総経費率

作成期間の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を作成期間の平均受益権口数に作成期間の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.93%です。



(注) 各費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 当ファンドの費用は、マザーファンドが支払った費用を含みます。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

最近5年間の基準価額等の推移について

(2019年1月10日～2024年1月10日)



- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
 (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
 (注) 分配金再投資基準価額は、2019年1月10日の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

	2019年1月10日 決算日	2020年1月10日 決算日	2021年1月12日 決算日	2022年1月11日 決算日	2023年1月10日 決算日	2024年1月10日 決算日
基準価額 (円)	5,971	6,419	6,206	6,769	6,829	7,738
期間分配金合計(税込み) (円)	—	240	240	240	240	240
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	—	11.7	0.6	13.1	4.4	17.1
純資産総額 (百万円)	21,950	20,779	18,529	18,457	17,228	18,416

- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。
 (注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。
 (注) 騰落率は1年前の決算応当日との比較です。
 (注) 当ファンドにおいては、運用の基本方針に適合した、公表されている指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

投資環境について

米国高利回り社債市場

当作成期は社債の対国債スプレッドが縮小したことで社債利回りは低下（価格は上昇）しました。米国債利回りは作成期初から2023年10月にかけてインフレの高止まり観測から上昇基調で推移しましたが、その後はインフレが落ち着いてきたことや米国経済減速懸念や12月開催のFOMC（米連邦公開市場委員会）の声明文で参加者らによる政策金利中央値予想が2024年に0.75%の利下げを織り込んでいたことなどから作成期末に向けて利回りは低下しました。社債スプレッドは長期金利の上昇を受け企業の借入れコスト増加による企業ファンダメンタルズ悪化懸念などから9月に拡大しました。その後は利下げ期待が台頭したことでファンダメンタルズ悪化懸念も払拭され、スプレッドは大きく縮小しました。

為替市場

作成期初から2023年11月の中旬にかけてドル円は日米の金利差拡大が意識されドル高円安が進行しました。その後、日銀の金融政策見直し観測や日米の金利差縮小から円高ドル安となりました。通期ではドルは対円で小幅な上昇となりました。

ポートフォリオについて

当ファンド

イーストスプリング米国高利回り社債オープン マザーファンド受益証券への投資を通じて、主として米国の高利回り社債に投資しました。

イーストスプリング米国高利回り社債オープン マザーファンド

主として米国の高利回り社債に投資することにより、高い金利収入の確保とともに証券の値上がり益の獲得を目指しました。クレジット・アナリスト・チームによる徹底した個別銘柄の調査・分析とバリュエーションを重視し、業種や個別銘柄の分散に配慮した銘柄選択およびポートフォリオ構築を行いました。当作成期は、カジノ運営会社や半導体メーカーなどの保有がプラス要因となった一方で、メディアや運輸などの保有がマイナス要因となりました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドにおいては、運用の基本方針に適合した、公表されている指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

分配金について

分配金額は、基準価額水準・市況動向等を勘案して、以下の通りとさせていただきます。なお、留保益の運用につきましては、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行います。

○分配原資の内訳

(単位:円、1万口当たり、税込み)

項 目	第246期	第247期	第248期	第249期	第250期	第251期
	2023年7月11日～ 2023年8月10日	2023年8月11日～ 2023年9月11日	2023年9月12日～ 2023年10月10日	2023年10月11日～ 2023年11月10日	2023年11月11日～ 2023年12月11日	2023年12月12日～ 2024年1月10日
当期分配金 (対基準価額比率)	20 0.268%	20 0.263%	20 0.267%	20 0.257%	20 0.261%	20 0.258%
当期の収益	20	20	20	20	20	20
当期の収益以外	－	－	－	－	－	－
翌期繰越分配対象額	720	739	747	769	777	792

(注) 対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針について

当ファンド

引き続きイーストスプリング米国高利回り社債オープン マザーファンド受益証券を組み入れることにより、信託財産の成長を図ることを目指します。

イーストスプリング米国高利回り社債オープン マザーファンド

米国高利回り社債市場は引き続き、格下げや債務不履行が増加するクレジットサイクルが進行中であると考えています。このサイクルを乗り切ることができるセクターや銘柄に投資機会があり、銘柄選別が重要になると考えています。運用担当者はポートフォリオの格付けを相対的に高めに維持し、市場の流動性などに留意するとともに、引き続き保守的な運用を行う方針です。2024年の経済成長は高利回り社債市場の多くのセクター・銘柄にとって十分なものであると予想されますが、労働市場の低迷には注意が必要であると考えています。市場環境を注視し、企業のクレジット分析を徹底して行ってまいります。

お知らせ

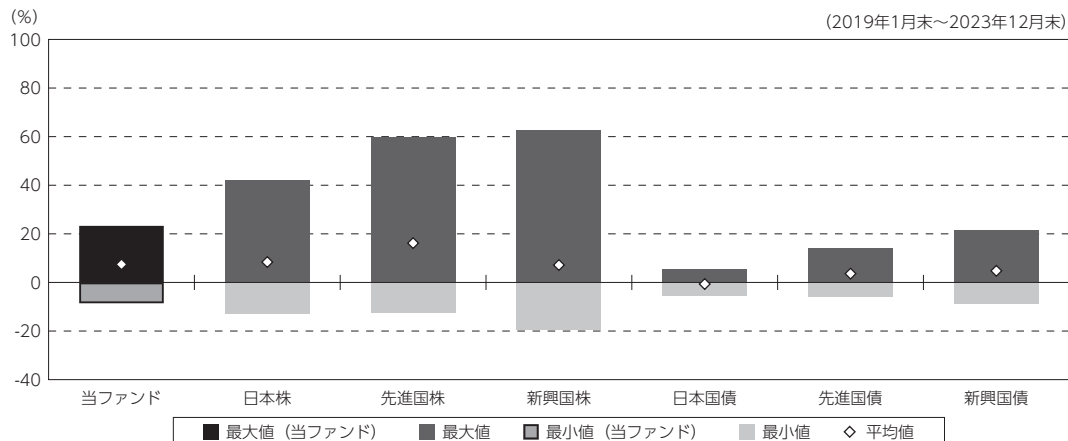
該当事項はありません。

当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／海外／債券	
信託期間	無期限（2003年1月30日設定）	
運用方針	イーストスプリング米国高利回り社債オープン マザーファンド受益証券への投資を通じて、主として米国の高利回り社債に投資することにより、高い金利収入の確保とともに証券の値上り益を追求し信託財産の成長を図ることを目指した運用を行います。	
主要投資対象	イーストスプリング 米国高利回り社債オープン	イーストスプリング米国高利回り社債オープン マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。
	イーストスプリング 米 国 高 利 回 り 社 債 オープンマザーファンド	米国の高利回り社債を主要投資対象とします。
運用方法	イーストスプリング 米国高利回り社債オープン	以下の投資制限のもと運用を行います。 ・株式への実質投資割合は、信託財産の純資産総額の10%以内とします。 ・外貨建資産への実質投資割合には制限を設けません。
	イーストスプリング 米 国 高 利 回 り 社 債 オープンマザーファンド	以下の投資制限のもと運用を行います。 ・株式への投資割合は、信託財産の純資産総額の10%以内とします。 ・外貨建資産への投資割合には制限を設けません。
分配方針	毎決算時（毎月10日。休業日の場合は翌営業日。）に経費控除後の利子・配当等収益および売買益（評価益を含みます。）等の全額を分配の対象とし、分配金額は基準価額水準・市況動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象金額が少額の場合は、収益分配を行わないこともあります。	

(参考情報)

○当ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



(単位: %)

	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値	23.3	42.1	59.8	62.7	5.4	14.3	21.5
最小値	△ 8.6	△ 12.8	△ 12.4	△ 19.4	△ 5.5	△ 6.1	△ 8.8
平均値	7.4	8.4	16.2	7.2	△ 0.7	3.6	4.8

(注) 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注) 2019年1月から2023年12月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。

(注) 上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

(注) 当ファンドは分配再投資基準価額の騰落率です。

《各資産クラスの指数》

日本株：東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)

先進国株：MSCI - KOKUSAI インデックス (配当込み、円ベース)

新興国株：MSCI エマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース)

日本国債：NOMURA - BPI 国債

先進国債：FTSE 世界国債インデックス (除く日本、円ベース)

新興国債：JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット・グローバル・ディバーシファイド (円ベース)

※各指数についての説明は、後述の「代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について」をご参照ください。

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

ファンドデータ

当ファンドの組入資産の内容

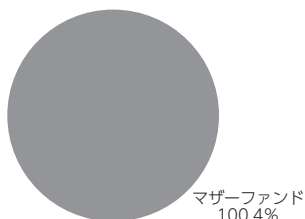
○組入上位ファンド

銘柄名	第251期末
イーストスプリング米国高利回り社債オープン マザーファンド	100.4%
組入銘柄数	1銘柄

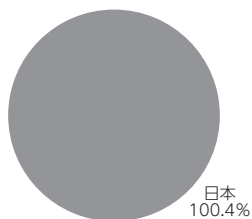
(注) 組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）に記載しております。

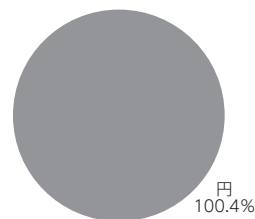
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。資産の状況等によっては合計が100%とならない場合があります。

(注) 国別配分につきましては発行国（地域）もしくは投資国（地域）を表示しております。

純資産等

項目	第246期末	第247期末	第248期末	第249期末	第250期末	第251期末
	2023年8月10日	2023年9月11日	2023年10月10日	2023年11月10日	2023年12月11日	2024年1月10日
純資産総額	18,271,530,226円	18,490,913,902円	18,100,605,142円	18,690,394,664円	18,314,735,566円	18,416,663,368円
受益権総口数	24,538,382,925口	24,410,135,697口	24,268,842,776口	24,094,038,063口	23,969,477,516口	23,800,958,292口
1万口当たり基準価額	7,446円	7,575円	7,458円	7,757円	7,641円	7,738円

(注) 当作成期間（第246期～第251期）中における追加設定元本額は114,955,526円、同解約元本額は953,573,247円です。

組入上位ファンドの概要

<イーストスプリング米国高利回り社債オープン マザーファンド>

基準価額の推移(2022年2月1日～2023年1月30日)

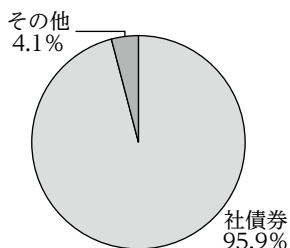


組入上位10銘柄 (組入銘柄数：334銘柄)

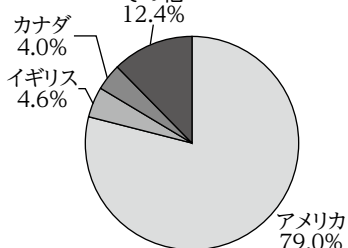
(2023年1月30日現在)

銘柄名	業種	利率	償還日	国・地域	比率
CCO ホールディングス/キャピタル	メディア	5.375%	2029/6/1	アメリカ	1.9%
スプリント	通信	7.125%	2024/6/15	アメリカ	1.6%
HCA	ヘルスケア	5.625%	2028/9/1	アメリカ	1.2%
カーニバル	レジャー	9.875%	2027/8/1	パナマ	1.0%
ams	テクノロジー/エレクトロニクス	7.000%	2025/7/31	オーストリア	1.0%
テネット・ヘルスケア	ヘルスケア	4.875%	2026/1/1	アメリカ	0.9%
ビルグリムズ・プライド	消費財	4.250%	2031/4/15	アメリカ	0.9%
ファースト・クワンタム・ミネラルズ	素材	6.875%	2027/10/15	カナダ	0.9%
ビルダーズ・ファーストソース	素材	4.250%	2032/2/1	アメリカ	0.9%
アイカーン・エンタープライゼズ/ファイナンス	金融	6.250%	2026/5/15	アメリカ	0.8%

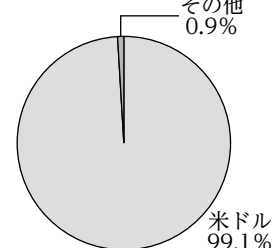
資産別配分



国別配分



通貨別配分



(注)組入上位10銘柄、資産別・通貨別配分の比率は純資産総額に対する割合、国別配分の比率は組入銘柄の総額に対する割合です。

*組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書(全体版)でご覧いただけます。

1 万口当たりの費用明細

(2022年2月1日～2023年1月30日)

項目	当期		項目の概要
	金額	比率	
(a) その他費用	11円	0.033%	(a) その他費用 = 期中のその他費用 ÷ 期中の平均受益権口数 期中の平均基準価額は、32,183円です。
（保管費用）	(11)	(0.033)	海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
（その他1）	(0)	(0.000)	信託管理事務に係る手数料
合計	11	0.033	

(注1) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

＜代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について＞

騰落率は、データソースが提供する各指数をもとに株式会社野村総合研究所が計算しており、その内容について、信憑性、正確性、完全性、最新性、網羅性、適時性を含む一切の保証を行いません。また、当該騰落率に関連して資産運用または投資判断をした結果生じた損害等、当該騰落率の利用に起因する損害及び一切の問題について、何らの責任も負いません。

○東証株価指数（TOPIX）（配当込み）

東証株価指数（TOPIX）（配当込み）は、日本の株式市場を広範に網羅するとともに、投資対象としての機能性を有するマーケット・ベンチマークで、配当を考慮したものです。なお、TOPIXに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は株式会社 J P X 総研又は株式会社 J P X 総研の関連会社に帰属します。

○MSCI-KOKUSAI インデックス（配当込み、円ベース）

MSCI-KOKUSAI インデックス（配当込み、円ベース）は、MSCI Inc.が開発した、日本を除く世界の先進国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、MSCI Indexに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc. に帰属します。

○MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）

MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）は、MSCI Inc.が開発した、世界の新興国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、MSCI Indexに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc. に帰属します。

○NOMURA-BPI 国債

NOMURA-BPI 国債は、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社が発表している日本の国債市場の動向を的確に表すために開発された投資収益指数です。なお、NOMURA-BPI 国債に関する著作権、商標権、知的財産権その他一切の権利は、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社に帰属します。

○FTSE 世界国債インデックス（除く日本、円ベース）

FTSE 世界国債インデックス（除く日本、円ベース）は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した指数です。なお、FTSE 世界国債インデックスに関する著作権等の知的財産その他一切の権利は、FTSE Fixed Income LLCに帰属します。

○JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット・グローバル・ディバースファイド（円ベース）

JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット・グローバル・ディバースファイド（円ベース）は、J.P. Morgan Securities LLCが算出、公表している、新興国が発行する現地通貨建て国債を対象にした指数です。なお、JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット・グローバル・ディバースファイドに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、J.P. Morgan Securities LLCに帰属します。